



## 基準値変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。  
 平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。  
 この度、下記項目につきまして、検査委託先より基準値をJISART（日本生殖補助医療標準化機関）による国内検討データに変更させていただくとの連絡がございました。  
 先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

### 記

#### ● 項目名

総合検査案内 2018 - 2019 : 27 ページ掲載

#### ● AMH（抗ミュラー管ホルモン）

（検査項目コード No.02630）

変更日 2019年2月1日（金）受付分より

#### 受託要領

	新	従来
検査項目コード No.	02630	同左
検査項目名	AMH(抗ミュラー管ホルモン)	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	1 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3 ~ 4	同左
検査方法	CLEIA法	同左
基準値	裏面参照	裏面参照
単位	ng/mL	同左
報告桁数	小数第2位	同左
報告範囲	0.02未満～最終値	同左
検査実施料/判断料	未収載	同左

裏面に続きます

## 従来基準値

性別	年齢(歳)	例数	中央値(ng/mL)	基準値範囲(ng/mL)
女性	18~25	80	3.71	0.96~13.34
	26~30	82	2.27	0.17~7.37
	31~35	80	1.88	0.07~7.35
	36~40	80	1.62	0.03~7.15
	41~45	79	0.29	3.27以下
	≥46	82	0.01	1.15以下
男性	>18	83	4.87	0.73~16.05

ベックマン・コールター株式会社 試薬添付文書 記載値

## 新基準値

[JISART(日本生殖補助医療標準化機関)多施設共同研究-検討データ]

年齢(歳)	例数	中央値(ng/mL)	基準値範囲(ng/mL)
≤27	558	4.69	0.76~14.18
28	387	4.27	0.84~12.44
29	555	4.14	0.86~11.97
30	663	4.02	0.79~12.74
31	865	3.85	0.44~13.08
32	872	3.54	0.62~13.87
33	959	3.32	0.40~12.76
34	1064	3.14	0.38~11.16
35	1191	2.62	0.37~10.18
36	1122	2.50	0.33~9.93
37	1154	2.27	0.24~8.50
38	1230	1.90	0.11~7.81
39	1176	1.80	0.13~7.45
40	1057	1.47	0.08~6.13
41	888	1.30	0.06~5.52
42	715	1.00	0.05~5.81
43	509	0.72	0.03~4.49
44	309	0.66	0.03~3.98
45	144	0.41	0.03~3.43
46≤	127	0.30	0.02~1.67
全群	15545	2.36	0.12~10.67

【参考文献】山本貴寛, 他: 日本生殖医学会雑誌 61, 487, 2016.

## AMHの測定に関する留意事項

日本産科婦人科学会 平成27~28年度 生殖・内分泌委員会 生殖医療リスクマネジメント小委員会報告では、AMHの測定に関する留意事項として次の4項目が示されています。

1. AMHは卵子の質とは関連しない。
2. AMHの測定値は個人差が大きく、若年女性でも低い場合や高齢女性でも高い場合があり、測定値からいわゆる「卵巣年齢」の推定はできない。
3. 測定値と妊娠する可能性とは直接的な関連はなく、測定値から「妊娠できる可能性」を判定するのは不適切と考えられる。
4. 測定値が低い場合でも「閉経が早い」という断定はできない。

【出典】平成27~28年度 生殖・内分泌委員会 生殖医療リスクマネジメント小委員会報告(苜原 稔, 他): 日産婦誌 69, 1721, 2017.